

## バグダッド 日誌 (1月10日)

- 再会は戦場で！
- ・ C2CASEで、スタッフLOとして勤務していたエストニアの大尉が帰国する。パレスで会った際に声をかけた。  
 國：「任務終了おめでとう。気をつけて帰ってくれ。」  
 エ：「ありがとう。又、次の戦争で会いましょう。」  
 國：「……そうだね。」
  - ・ これまで色々な国のLOを見送った。「きっと日本に行くよ」、「いつか、俺の国に来てくれ」というのが、彼らのいつものせりふだった。「次の戦争」で会おうと言われたのは初めてだった。少なからず驚いた。
- 「基礎動作の確行」
- ・ 自衛隊において「基礎動作の確行」が大事な事は誰もが知っているが、米陸軍においても同じである。
  - ・ 戦時平時にかかわらず、それぞれの部隊の先任陸曹や陸曹長が厳しく指導しているが、一度決まった規則や統について、隊員からの修正要望があれば、それぞれの部隊や基地(規模によっては全陸軍)の「曹長meeting」で話し合われ、必要の部度最上級先任曹長から指揮官に直接指導を仰ぎ、変更決済を得ればまた「曹長meeting」により徹底されている。米軍では、「やるべき事」を確実に部隊に徹底する上で、曹長の果たす役割は大きい。
  - ・ さて、各国の高官等が来訪する場合、来訪ギリギリの日時に「曹長meeting」において発表するのが通例となっているので、情報提供を来訪当日に行った。
  - ・ 「陸上自衛隊の第8師団長が本日午後から明日までの間、バグダッドに来訪されます。もし將軍に会った場合、「オス！」と言ってください。「オス」とは、米陸軍の「HOOAH(フーア)」と同じで挨拶する時の言葉ですので、將軍も喜ばれると思います。」と、言ったところ反響が大きく、初めてその事を聞いた曹長などは、meetingの終始を通じて「オス、オス」と言ってくれていた。
  - ・ 米軍の曹長を通じての情報伝達の確行という点では、師団長の滞在間次のような状況であった。  
 空港に師団長を迎えに行った時に「オス！」  
 宿泊場所に案内した時に「オス！」  
 教養場所に案内した時に「オス！」  
 夕食後の暗闇で通りすがりの車の中から「オス！」、魚釣りをしている米兵が竿を持ちながら「オス！」  
 あまりにも「オス、オス」言われるので、流石の師団長もビックリされていた。
  - ・ 米陸軍の情報伝達スピードと徹底ぶりにビックリさせられた。

## バスラLO日々業務報告(1月10日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢) :
2 特記事項	(1) (2) 
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF脱走情報、デモ調遣情報等 (2) 定例情報収集 : (3) 定例会議への出席 : 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 空路輸送調整 (5) 訪問者対応
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整
5 その他(備考)	